

2013 年度の北大小児科年報の発刊にあたって

2013 年度の北大小児科年報の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

2014 年は、北大小児科にとって悲しい年となりました。山田尚達名誉教授ご夫妻、構丸博幸千歳市民病院院長、小西貴幸旭川市立病院小児科部長、神奈川の山岡貢二先生がご逝去されました。改めて、ご生前のご厚誼に感謝申しあげ、ご冥福をお祈り申し上げます。

また、今年は大雨や、台風、火山などの天災で被害のあった方が多かった年でした。ノーベル物理学賞で日本人受賞など明るい話題もありましたが、来年は明るい話題がもっと多い年になってほしいものです。

さて、例年同様に北大小児科とその関連病院で働く仲間の活躍をどうぞご一読下さい。言うまでもなく人の命ははかないものです。一人一人が、今、「目の前にあるやらなければならない仕事に全力を尽くす事」がいかに重要か、改めて感じております。2013 年度の北大小児科、その関連病院の活躍はどの様に評価されるでしょうか。

2012 年度よりもより充実したものとなっている事を期待し、2014 年度の年報はさらに実りの多いものとなっている事を信じております。

北海道大学大学院医学研究科
小児科学分野 教授 有賀 正